様式第2号（第3条関係）

基準点現況調査報告書

	①	年	月	日	作業名
測量調査年月日				日間	作業機関名
	②	年	月	日	調査者

1/5万 図名	等級　名称 種類（番号）	所在地（県、市町村名）	現況区分	現況の 地目	備考 （基準点コード）

1．基準点の現況が分かる写真がある場合には、市川市に1部提出してください。
2．現況区分については下記を参考に記載してください。
3．備考欄には、成果表または点の記に記載してある基準点コードを記入してください。

基準点の現況区分

(1) 正常　　点の記等による柱石及び磐石が異常でないと判断されるもの。

(2) 異常

イ) 亡失　　磐石が無くなっていることを確認したもの。又は磐石はあるが、その位置が測量成果の表示する位置と異なっていることが点の記等で明らかであるもの。

ロ) 不明　　磐石が発見できず、亡失していることが確認できないもの。

ハ) 傾斜　　磐石は正常であるが、柱石が傾斜又は横転しているため、柱石を正常な位置に修正することが必要と判断されるもの

ニ) 要移転　　柱石及び磐石は正常であるが、現状のままでは将来における保存等の継続が見込まれず、移転が必要と判断されるもの。

ホ) 埋没　　柱石が地中に埋没しており、嵩上げ又は保護策が必要と判断されるもの。

ヘ) 露出　　柱石が地上に著しく露出しており、低下又は保護策が必要と判断されるもの。

ト)柱石き損　　磐石は正常であるが、柱石はき損しているため、柱石の交換又は補修が必要と判断されるもの。

チ)柱石亡失　　磐石は正常であるが、柱石が亡失しているため、柱石の補充が必要と判断されるもの。